

教育センターだより

本年度の教育センタースローガン

子どもと教職員の主体的な学びをサポートし、
頼りにされる教育センター



香川県教育基本計画（令和3年～7年）における基本理念は「郷土を愛し 夢と志を持って自ら学び 歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」です。この基本理念を共有し、その実現を目指して様々な教育現場、教育機関が教育活動に取り組んでいます。

また、国においては『「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて（審議まとめ）』において、教師の資質・能力の向上に向けた新たな方向性を示し、その実現に向けて、令和5年度からは研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励、令和6年度からは全国教員研修プラットフォーム（Plant）の稼働等、新たな取り組みが始まっています。

このような現状において、現場のニーズや教育課題を踏まえた事業を行い、子どもと教職員の主体的な学びをサポートし、学校現場の役に立ち、頼りにされる行政機関であることを目指したいと考えています。

令和6年4月 香川県教育センター 所長 福田宏志

調査研究について

令和6年度 調査研究事業〔研究計画〕

1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた調査研究（2年次）

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進し、県教育センター協力学校等の先進的な実践事例をもとに、効果的な指導の在り方等について提案します。

2 児童生徒が主体的にICTを活用して取り組む学習の充実に向けた調査研究（2年次）

児童生徒が主体的にICTを活用して取り組む学習の充実を推進し、県教育センター協力学校等の先進的な取り組みをもとに、児童生徒が自らICTを選択し、活用できるよう、情報モラル教育を含む情報活用能力の育成に関する指導の在り方、各学校の環境に応じた1人1台端末等の管理・運用について提案します。

3 全国及び香川県の学習状況調査の結果分析

学校現場の授業改善や教育課程の見直しなどの取り組みを研修サポートや研究相談を通じて支援できるよう、全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果を分析し、本県の課題を明らかにするとともに、学力向上に向けた提案をします。

令和5年度 研究発表会〔成果報告〕

研究発表会 報告

令和5年度発表会の報告と3冊の研究報告書をWebページに掲載中



A4版(1枚)



CLICK

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査結果分析

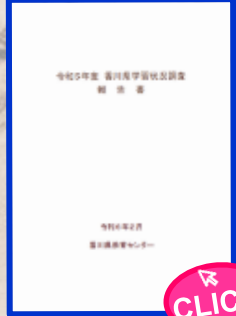


POINT

調査の結果からみられる本県の特徴

課題改善のための5つのチェックポイント

A4版(84ページ)



CLICK

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた調査研究（1年次）

閲覧、ダウンロードには教育センターWebサイトにログインする必要があります



POINT

A4版(28ページ)

「そろえる」から「伸ばす」学習観・授業観の転換

ともに学び合う教職員集団 新たな教師の学びの姿



CLICK

児童生徒が主体的にICTを活用して取り組む学習の充実に向けた調査研究（1年次）



POINT

学びを支える3本柱 学び方を変えるICT活用

児童生徒に必要なスキル表 教師に必要なスキル表

香川県教育センター提案 活用推進モデル

A4版(44ページ)



CLICK

今年度の教育センターの事業をご紹介します。

令和6年度 公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。



期 日	演 題	講 師（敬称略）
5/ 7(火)	災 害 共 済 給 付 事 務	日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー
5/24(金)	子 供 た ち の ネ ッ ト 利 用	三 光 病 院 院 長 海 野 順
6/25(火)	自 己 調 整 の 学 び と そ の 支 援	香川大学教育学部 准 教 授 岡 田 涼
8/ 2(金)	『個別最適な学び』と『協働的な学び』の 実現を目指す国語科の授業づくり ～ICT 活用をはじめとした指導のねらいを 実現する多彩な手立ての開発～	京都女子大学発達教育学部 教 授 水 戸 部 修 治
8/ 5(月)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	滋賀大学教職大学院 教 授 大 野 裕 己
8/ 6(火)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	追手門学院大学心理学部 教 授 三 川 俊 樹
8/20(火)	働き方改革と学校管理職のリーダーシップ	愛媛大学大学院教育学研究科 教 授 露 口 健 司
8/29(木)	就学前における特別支援教育コーディネーター	香川大学教育学部 教 授 小 方 朋 子
11/ 7(木)	特 別 支 援 教 育 （ 発 達 障 害 ）	香川大学教育学部 教 授 坂 井 聡
12/25(水)	社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント	甲南女子大学人間科学部 教 授 村 川 雅 弘

カリキュラムセンター事業

◆ 教育ライブラリー

[所蔵資料]

- ・教育図書 12,804冊（令和5年度末現在）
- ・研究紀要・論文、教育研究物、教育行政資料
- ・教育雑誌、各社の教科書
- ・視聴覚資料 他

[閲覧・貸出等]

- ・開室時間 9:00～17:00（月～金）
9:00～16:00（土）
（ただし、土曜日は原則として 13:00～14:00 閉室）
- ・貸出冊数 1 回につき 5 冊まで
- ・貸出期間 15 日間

◆ Webサイト

調査研究報告書など、教育活動に役立つ資料を
収集・作成し、情報提供します。
また、教職員研修を効率的・効果的なものにする
ため、オンライン研修事業を推進します。

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題
に沿った指導や助言、研修支援を行います。
（令和5年度実績：421件）

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電
話、メール等により教職員からの相談に応じ
ます。（令和5年度実績：284件）

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターと
を結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、
様々な教育情報や各種サービスを提供しま
す。

◆ 学校教育力向上支援事業（さぬき学びの支援隊）

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の
資質・能力の向上に向けた支援を行います。
（令和5年度実績：

支援隊登録者数 377人
派遣校数 105校
派遣時間総数 6,881時間）

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その
自主的研修や調査研究の場として、研修室を
無料で貸し出します。
・貸出時間 9:00～16:30（月～土）
（令和5年度実績：162団体 5,363人）

子どもたちのこと、保護者への対応で悩んでいませんか？

教育相談課では、学校における教育相談活動を支援するために、次のような活動を行っていますのでご活用ください。

問い合わせ先 教育センター教育相談課 ☎ 087-813-0945



コンサルテーション

子どもや保護者とのかかわり方や学校で行う指導、支援の在り方について、電話や来所での相談を受け付けています。



研修サポート

学校等が主催する、教育相談や特別支援教育、生徒指導に関する研修の講師を務めたり、ケース会議に参加したりしています。関係する資料の提供も行っています。



学校支援アドバイザーの派遣

かわた ゆきお
川田 行雄 アドバイザー
臨床心理士

ふじさわ あかね
藤澤 茜 アドバイザー
社会福祉士・精神保健福祉士
香川SSW協会副会長



学校支援アドバイザーが学校を訪問し、対応の難しい問題について解決の道筋を一緒に考えます。

※対象は公立小中学校です。

Web サイト

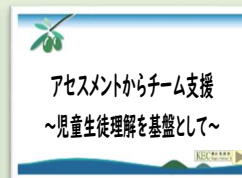
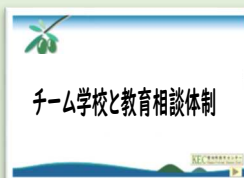
香川県教育センターの Web サイトに掲載しています。

心と身体のチェックリスト



突然の災害や事故、事件に遭遇したり、何らかの強いストレスを受けたりした子どもたちのサポートのため、学校で活用していただくことを目的に作成したチェックリストです。

オンライン研修資料は、校内研修や若年教員への指導資料としてお使いいただけます。



教育相談窓口のご案内

電話相談



子ども電話相談 (毎日 9:00~21:00)
087-813-3119

子育て電話相談 (毎日 9:00~21:00)
087-813-2040

24 時間いじめ電話相談 (毎日 24 時間)
087-813-1620

24 時間子供 SOS ダイヤル (毎日 24 時間)
0120-0-78310

子どものネットトラブル相談
(月~金曜日 9:00~21:00 祝日・年末年始を除く)
087-813-3850

香川県教育センター 相談窓口

香川 教育相談窓口

検索

来所相談



087-813-0945
予約受付

月~金曜日 9:00~17:00
第2・4土曜日 13:00~17:00
(祝日・年末年始を除く)

メール相談

kesoudan@kagawa-edu.jp
(毎日 24 時間)

FAX 相談

087-881-3272
(毎日 24 時間)

※返信には時間がかかることがあります

先生方一人ひとりからの相談も受けています！

教育相談課 TEL: 087-813-0945
月~金曜日 9:00~17:00
(祝日・年末年始を除く)

